

事業コード	H23-建-新-9		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設交通部 河川砂防課
事業種別	砂防堰堤工・溪流保全工		班 名	砂防・防災班 (tel) 018-860-2519
路線名等	小沢		担当課長名	河川砂防課長 石黒 互
箇所名	湯沢市秋ノ宮字小沢		担当者名	主幹(兼)班長 田口 秀男
総合計画との関連	政策コード	11	政 策 名	生活基盤の整備
	施策コード	02	施 策 名	災害に強い県土づくりと社会資本の長寿命化
	指標コード	01	施策目標(指標)名	土砂災害防止施設、河川、海岸の整備

## 1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H27 (4年)		総事業費	2.7億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	○砂防堰堤工1基(H=8.5m L=44.0m) ○溪流保全工(L=200.0m)						
事業の立案に至る背景	○当溪流は、湯沢市小沢地区に位置し、保全対象として人家11戸・市道360m等を抱える土石流危険溪流である。平成22年7月17日の集中豪雨により当溪流の流域内では山腹崩壊・溪岸浸食が進行し、床下浸水1戸・市道に土砂埋塞する被害が発生し、地域住民が一時孤立状態となった。 溪流内には未だに不安定土砂が堆積しているため、豪雨等により再度土石流が発生した場合には、人家・市道等に甚大な被害が発生する恐れがある。 このような土砂災害から砂防施設をもって人命、財産を保全するため新規事業箇所として要望するものである。						
事業目的	【主たる目的】 ○土石流を砂防堰堤で捕捉し、下流域にある人家を保全し、住民の生命・財産を守り、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 ○人家11戸 ○市道360m						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度以降
	事 業 費		270,000	20,000	90,000	80,000	80,000
	経費 内訳	工 事 費	175,000		57,000	58,000	60,000
		用 補 費	41,000		10,000	16,000	15,000
		そ の 他	54,000	20,000	23,000	6,000	5,000
	財源 内訳	国庫補助	135,000	10,000	45,000	40,000	40,000
		県 債	121,500	9,000	40,500	36,000	36,000
そ の 他							
事 業 内 容		本工事 詳細設計 地形測量 用地補償	地形測量 詳細設計 用地測量	砂防堰堤工 工事用道路工 用地補償	砂防堰堤工 用地補償 付替道路	溪流保全工 橋梁工	
調査経緯	○平成22年度 県単砂防調査費 砂防流域調査委託						
上位計画での位置付け	○「ふるさと秋田元気創造プラン」で5つの戦略を支える横断的な取組の(4)社会資本整備の推進の中で水害・土砂災害への対応力強化が位置付けられている。						
関連プロジェクト等	○特になし						
事業を取り巻く情勢の変化	○平成21年7月に発生した山口県防府市の土石流災害(死者19名)が発生したのを機に、災害時要援護者施設が保全対象となる危険箇所でのハード・ソフト一体となった砂防施設整備が急務となっている。 ○流域上部において土砂災害が発生しており、土石流災害の危険度が非常に高い。						
事業効率把握の手法	指 標 名	土砂災害危険箇所整備率					
	指 標 式	概成箇所数/危険箇所数					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	24 %		データ等の出典	危険箇所調査結果		
	達成値 b	23 %					
達成率 b/a	98 %		把握の時期	平成23年 3月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	○土石流が発生した場合は、下流の人家・市道が被災し、土石流直撃の恐れもあるため、事業の必要性は高い。 ○土石流危険渓流と位置づけられており、県では危険箇所マップの配布等により、住民への周知を実施していることから、地元住民の関心は高い。 ○砂防法第5条により工事の施工は都道府県が行うものと位置づけられている。	17 点
緊 急 性	○流域内は斜面勾配が急であり、流域内において崩落した土砂が崩落地の下部に堆積しており、豪雨が発生した場合には土石流が発生するため、早急な整備が必要である。 ○「ふるさと秋田元気創造プラン」において、整備率の向上が必要な土砂災害危険箇所に位置づけられており、平成24年度の事業着手は妥当である。	35 点
有 効 性	○施設の整備により、土砂災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が短期間に確保できる。 ○土石流危険渓流の整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。	16 点
効 率 性	○事業の費用便益費は3.15であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 2.52億円 ・総便益の現在価値 7.93億円 ○事業費は、残存型枠使用によるトータルコストの削減など、詳細設計時等各段階において、コスト削減の検討を行う。	10 点
熟 度	○H22年度の土砂災害により事業説明会を要望された経緯があり、地元住民の防災意識も高く、整備要望もあるなど合意形成が済んでいる。 ○湯沢市でも地元要望や砂防施設の必要性について認識しており、合意形成がなされている。	10 点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III )	88 点
	すべての項目において評価点が高く、住民の生命・財産を保全する上でも有利な事業箇所であり、実施すべきと考える。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
	当該渓流は、多量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨や融雪等により土石流が発生する危険性が高く、平成22年7月には下流の人家、避難路となっている市道に土砂埋塞する被害が発生し、地域の一部が一時孤立状態となった。人命及び財産の保全の観点から必要性及び緊急性は高く、事業実施という1次評価は妥当と判断される。

## 4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該渓流は、昨年7月に土砂崩落が発生しており、事業実施の優先度は高い。 効果的な堰堤の設置場所や、現地発生材の有効利用等により、コスト削減が図られており妥当である。	

## 5. 最終評価（新規箇所選定会議）

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
	事業の実施は妥当である。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

事業箇所を国に新規要望する。
----------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 砂防事業

事業コード(H23-建-新-9 )  
箇所名 (湯沢市秋ノ宮字小沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	土砂災害に対する情報提供の有無	有り 無し	5 0	5		
	危険箇所マップ等の公表の有無					
	事業の必要性					
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業 県が実施すべき広域的な事業 県が実施した方が望ましい事業 県関与の必要性が低い事業	5 3 1 0	5		
	地域住民のニーズ	地域住民のニーズが高い 地域住民のニーズが低い	5 0	5		
	流域の整備状況					
	砂防設備の整備状況	未整備 低い(土砂整備率30%以下) 低い(土砂整備率30%超)	5 2 0	2		
	計		20	17		
	緊急性	災害実績				
		過去の災害発生履歴	発生後の経過が3年以内 発生後の経過が10年以内 その他	10 5 0	10	
災害発生の危険度						
地形・地質の状況		極めて不良 不良 良好	8 4 0	8	火山噴出物、花崗岩、第三期層、破砕帯で地すべり地形を呈するもの	
植生の状況		極めて不良 不良 良好	7 4 0	7	禿しゃ状態、倒木多数等 放置林、単層林等で下層植生が生育していない等	
河床堆積、溪岸侵食状況		甚だしい 比較的安定 安定	10 5 0	10		
計			35	35		
有効性		災害発生時の影響(被害想定範囲内)				
		人家戸数	20戸以上 5~20戸未満 1戸~5戸未満 0戸	10 6 2 0	6	
		災害弱者施設の有無	重要施設が有る 一般施設が有る 無し	5 3 0	0	自力避難困難者を収容 上記以外の災害弱者を収容
	公共施設等の有無	有り 無し	5 0	5	官公署、道路等	
	施策目標への貢献					
	土砂災害危険箇所整備率への貢献	危険渓流ランクⅠ 危険渓流ランクⅡ その他	5 3 0	5		
	計		25	16		
	効率性	費用対効果				
		B/C	1.0以上 1.0未満	10 0	10	
		計		10	10	
熟度	事業着手の熟度					
	地元住民との合意形成	合意形成が済んでいる 合意形成がなされる見込みである 合意形成がなされていない	5 3 0	5		
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる 合意形成がなされる見込みである 合意形成がなされていない	5 3 0	5		
	計		10	10		
	合計			100	88	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		